

性暴力とは

望まない、同意のない
性的な行為は性暴力です

性暴力は人権侵害です

年齢、性別(セクシャルイテ)、
立場などは関係ありません



<わし>は
こちら



これって性暴力かも…
って思ったら

うまく話せなくても大丈夫

ひとりで悩まずに

相談してみませんか

群馬県性暴力被害者
サポートセンター
セーブ
Saveぐんま

STEP1

電話相談/メール相談

相談員が相談を
お受けします
男性相談員を希望される
場合はお伝えください

匿名相談可
秘密は守ります

STEP2

面接相談

直接お会いしてお話を
ながらごんな選択肢が
あるかを一緒に考え、
必要な支援につなぎます

STEP3

医療的支援

医療機関を紹介し、
受診に付き添い
ます

心理的支援

心のケアに対応
できる病院を紹介
したり、支援員が同行
して心理的サポートを
行います

法的支援

専門家(弁護士)
への相談に
つなぎます

同行支援

警察や司法機関、
関係機関へ付き
添います



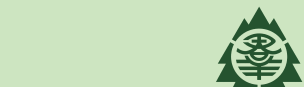
#8891【全国共通相談短縮ダイヤル】
または 027-329-6125
(Saveぐんま相談専用ダイヤル)



メール相談
フォームは
こちら



Saveぐんま
セーブ
ができること



年齢・性別に関係なく、あなたでも相談ができます

匿名相談可

秘密は守ります

電話相談 #8891【全国共通相談短縮ダイヤル】

または 027-329-6125
(Saveぐんま相談専用ダイヤル)

〈相談受付時間〉

月～金曜日/9:00～17:00

※平日17時～翌朝9時、土日祝日は全国一律の
コールセンターにつながりご相談できます

メール
相談

専用フォーム

Saveぐんま
ホームページ

<https://savegunma.jp/>

事務局 Tel.027-329-6215 (平日9時～17時)

性暴力被害にあったら

～被害後間もない方へ～

- まずは安全な場所へ移る
- すぐに病院へ行く(からだのケア)
 - ・ケガの手当
 - ・緊急避妊(アフターピルの処方)
 - ・性感染症の検査
- できるだけ証拠を残す
 - ・シャワーを浴びない
 - ・身につけていた下着、衣類の保管
 - ・メールやSNSのやりとりの保存など



くわしくは
こちら

～被害後しばらくたった方へ～

- 病院へ行く(からだ・こころのケア)
 - ・生理が遅れていたり、性感染症が心配なとき
 - ・つらさが消えず、落ち着かないとき



くわしくは
こちら

拠点病院・県内協力医療機関リスト(産婦人科)

小児科・泌尿器科・外科などの受診が必要な場合もあります どこを受診したらいいかわからない時は Save ぐんまにご相談ください



被害について相談を受けた方へ

被害にあわれた人への接し方

- ・安全を確保する
- ・レイプ被害の場合は、医療機関への受診を勧める
- ・怒ったり、責めたり、否定しない
- ・共感的に話を聞いて、受け止める



くわしくは
こちら

子どもの被害を知ったら ～身近な大人の方へ～

- ・子どもの安心・安全を第一に考える
- ・子どものケアをひとりで抱え込まない



くわしくは
こちら

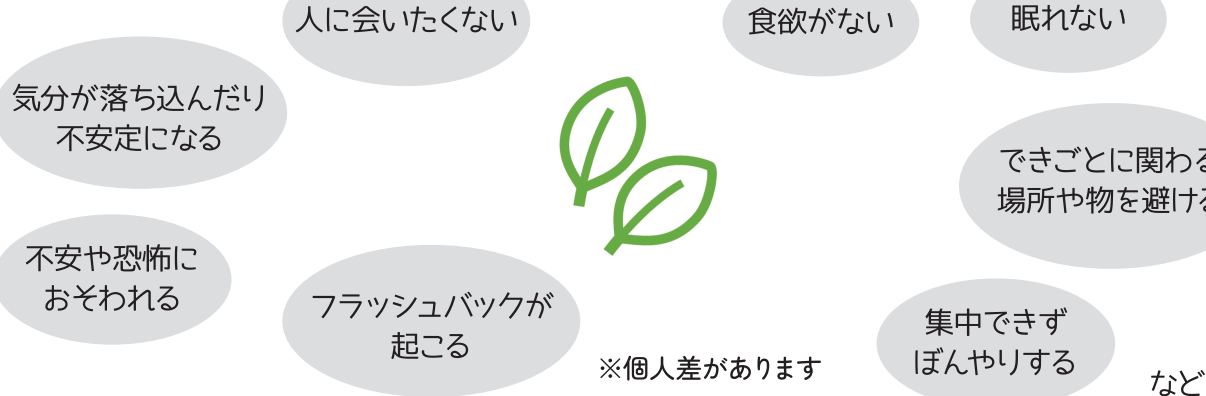
被害を打ち明けられたり、相談を受けたあなたが
まずは Save ぐんまにご相談ください

被害後のからだこころの変化

ショックな出来事を体験すると、からだこころにいろいろな変化が生じます
誰にも起こりうる当然の反応です あなたは悪くありません



くわしくは
こちら



■ 主な関係する相談窓口 ■



性犯罪被害相談電話(警察)

#8103 または
0120-271-110

その他の
支援機関
相談窓口
はこちら



配偶者や交際相手からの
暴力についての相談(群馬県女性相談センター)

027-261-4466



性暴力に関するSNS相談

キュア タイム
「Cure Time」(内閣府)

チャットにて相談ができます

